２０１８年（平成３０年）７月１３日　金曜日

デーリー東北　１５面　掲載

全国高校野球選手権記念
第100回
青森大会
◇第４日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第４日は12日、八戸市長根、青森市営、青森県営、六戸町メイプルの４球場で１、２回戦の計11試合を実施した。県南勢は野辺地、六戸、六ケ所による上北連合が黒石にサヨナラ勝ちを収めて初戦を突破。田名部は八戸東を１点差でかわし、八戸北は大湊川内に大勝した。

シード校の八学光星、三本木も初戦を飾り、３回戦進出。大湊は青森商にコールド負けを喫した。

13日は調整日のため試合は行わない。14日は４球場で、２回戦計８試合を実施する。

（取材班）

光星コールド発進

八学光星1010042｜8
八戸工0001000｜1
（7回コールド）

（光）中村、後藤、山田、福山―秋山
（工）鈴木惇、上野、高橋―細川、関川

▽本塁打　長南（光）▽二塁打　近藤俊（光）▽暴投　中村（光）鈴木惇（工）▽試合時間　1時間51分（球審＝小松、塁審＝階上、河村、金）

【八学光星―八戸工】初回八学光星２死、長南佳洋が本塁打を放ち先制する＝長根

【評】八学光星は初回、長南の中越え本塁打で1点を先制。六回には、3連続四死球で得た1死満塁の好機に、矢野の適時打で2点を追加するなど4点を挙げ、勝利を手中とした。八戸工は四回に鈴木惇の適時打で1点を返すにとどまった。

八学光星・長南佳洋主将（初回に右越え本塁打）「初戦の1打席目に思いっきり振れて、スタンドまで行ったのは大きい。自信にしてやっていきたい」

八工　後半崩れる

○…今春の県大会王者である八学光星の強力打線に、「打たせて取る」作戦で挑んだ八戸工。五回までロースコアに抑え込んだが、その後、投手陣が崩れてコールド負けを喫した。

攻撃では全員で得点を狙った。2点を追う四回、1死二塁で打順が回った鈴木惇郁は「仲間がつないでくれたチャンス。1点でも取ってやろう」と強気でスイング。1点差まで詰め寄った。

試合後、鈴木は涙をこらえながら振り返った。「悔しいことが多い3年間だったけれど、光星相手に粘れていた。みんなで頑張ってきて良かった」

【八学光星】	打	安	点	振	球
④3近藤俊	4	2	1	0	0
⑥武岡	4	1	1	1	0
⑧長南	2	1	1	0	2
⑦東	2	0	0	0	2
7北林	0	0	0	0	0
③近藤遼	2	0	1	0	1
4島袋	0	0	0	0	0
⑨矢野	3	1	2	0	0
⑤下山	3	0	1	0	0
5伊藤	1	0	0	0	0
②秋山	3	3	1	0	0
①中村	0	0	0	0	0
H但井	1	0	0	0	0
1後藤	0	0	0	0	0
1山田	0	0	0	0	0
1福山	0	0	0	0	0
犠盗失併残 4 4 0 0 5	25	8	8	1	5

【八戸工】	打	安	点	振	球
⑨濱中	3	0	0	2	1
④松原	4	1	0	2	0
⑧小砂子	2	0	0	1	0
⑤章野	3	1	0	2	0
③畠山	3	0	0	2	0
⑦佐々木	3	2	0	1	0
③細川	1	0	0	1	0
2関川	0	0	0	0	0
①鈴木惇	1	1	1	0	1
1上野	0	0	0	0	0
1高橋	0	0	0	0	0
H松橋	1	0	0	1	0
④木村	1	0	0	0	0
H磯嶋	1	0	0	0	0
犠盗失併残 4 1 0 0 7	23	5	1	12	2

投手	回	打	安	振	球	失
中村	5	22	5	7	1	1
後藤	1	3	0	3	0	0
山田	⅔	2	0	1	0	0
福山	⅓	2	0	1	1	0
鈴木惇	5⅓	22	4	1	2	4
上野	⅔	8	4	0	2	4
高橋	1	4	0	0	1	0

野西　本塁遠く

青森山田120000000｜3
八学野西000000000｜0

（青）堀田―工藤
（八）松山、久保田―白石健

▽三塁打　佐藤隼（青）▽捕逸　白石健（八）▽試合時間　1時間37分（球審＝長内、塁審＝関、秋元、小西）

【青森山田―八学野西】３回途中から登板し、２安打無失点に抑えた八学野西の久保田大陸＝青森市営

【評】青森山田は初回1死二塁で、佐々木優が中前適時打を放って先制。二回には2死一、三塁で佐藤隼の2点適時打で突き放した。先発堀田は相手打線を5安打に抑えて完封した。八学野西は七回に2連打で好機をつくるが、得点に結び付けられなかった。

青森山田・堀田賢慎（9回を無四球完封勝利）「制球を修正しながら投げた。直球が良く、（七回2死一、二塁の）ピンチも三振で切り抜けられた」

ロングリリーフ　3回途中から無失点
久保田「集大成出せた」

○…序盤に3点を奪われた八学野西。三回、1死二、三塁のピンチで登板したのは主戦の久保田大陸だった。プレッシャーのかかる場面だったが、「緊張せず強い気持ちでマウンドに立った」。

三回をしのいだ後、青森山田打線を2安打に抑える好投で、最後まで投げ切った。「後ろの仲間を信じて投げた。今までの集大成を出せた」と振り返った。

一方、坂本塁主将は「守備で頑張ったのに攻撃で返せなかった」と悔しがった。相手投手を最後まで捉えることができなかった。

「いろいろなことがあったが、このメンバーで野球できて良かった。後輩には甲子園に行ってほしい」と願いを託していた。

【青森山田】	打	安	点	振	球
⑧佐藤隼	4	1	2	1	0
④増尾	4	2	0	0	0
⑨佐々木優	4	1	1	1	0
9白鳥	0	0	0	0	0
⑦中澤	3	0	0	0	1
③佐藤雅	4	1	0	1	0
⑤上崎	3	1	0	0	1
⑥赤平	4	1	0	0	0
②工藤	4	0	0	1	0
①堀田	3	0	0	0	1
犠盗失併残 0 1 0 0 6	33	7	3	4	3

【八学野西】	打	安	点	振	球
⑧佐々木康	4	1	0	0	0
④金浜	4	0	0	1	0
②白石健	4	0	0	2	0
⑦白石韶	4	1	0	1	0
⑤坂本	4	1	0	1	0
⑥細井	3	1	0	0	0
⑨田沢	3	0	0	2	0
③桧山	3	1	0	0	0
①松山	0	0	0	0	0
1久保田	2	0	0	0	0
犠盗失併残 1 0 1 1 5	31	5	0	7	0

投手	回	打	安	振	球	失
堀田	9	32	5	7	0	0
松山	2⅓	14	5	0	3	3
久保田	6⅔	22	2	4	0	0

デーリー東北新聞社提供